

さいきん しゅうしょくじょうきょう

最近の就職状況について

厚生労働省の発表によると、最近の高校生の就職内定率は少しずつではありますが、増加しています。コロナ禍になって減少していた求人数も回復傾向にあります。

また、障害者雇用率も令和5年度は据え置ききの2.3%ですが、6年度には2.5%、8年度からは2.7%と段階的に引き上げることが決まっています。

これらのことから、障害がある高校生の就職は、昔と比べると就職しやすいと言えるでしょう。しかし、「自分がやりたいこと」があいまいで、周りに勧められるまま企業を選んでしまうと、長続きせず、すぐに離職や転職をすることになりかねません。そうならないためにも、「自分がどのような仕事をしたいか」を考えることはとても大切です。同時に「自分ができることは何か」も忘れないでください。



★チェックしてみよう★

会社が求める人物像（3つにしばってみました。これだけではありません。）

できているかどうかチェックしてみましょう。

①明るく、元気がある。基礎体力がある。	はい ・ いいえ
②チームで協力することができる。他の誰かのためにできる。	はい ・ いいえ
③自分の意見をはっきり言うことができる。	はい ・ いいえ

進路希望調査ありがとうございました。

進路希望調査への御協力、ありがとうございました。集計結果やいただいた質問への回答は、進路・地域支援だよりの6月号でお知らせします。

ち い き し え ん げ ん ば ～地域支援の現場より～

通級指導を始める前に初回打ち合わせを行います。その際、通級指導を希望する学校の先生や保護者から通級指導への要望（指導してほしいこと、期待、保護者の願いなど）を確認します。

今回は、保護者の願い（思い、期待）をいくつか簡単に紹介します。（以下は、原文のまま）

言葉の聞き間違い、覚え間違いを親が指摘してもなかなか聞き入れてくれませんが、通級では素直に聞けるようですので今後もよろしくお願ひします。○年生になり補聴器のことを言われるのが恥ずかしく思うことがあります。音を正しく聞くことの大切さを上手に伝えていただけるとありがたいです。音程やリズムの取り方の上手な方法があればぜひ教えてあげてほしいです。



しょうてい ほごしゃ
(小低・保護者)

相手に自分の名前がしっかりと伝わらないことが多いので、自分の名前がしっかりと伝わるようになること、相手に伝わらない時にどのように対応するべきかを指導していただけると助かります。



しょうてい ほごしゃ
(小低・保護者)

本人が聴覚障害を受け入れることができるようになってほしいです。また、人に対しての接し方や困った時にどうしてもらおうとよいのか、そのために日頃からどうするよいのかなど伝えていただけたらうれしいです。



しょうこう ほごしゃ
(小高・保護者)

聞こえに関して困っていることや感じている気持ちを共有し難聴に対して卑下することがないよう、生活行動・メンタル面を支えていただきたいです。課題としては、補聴器を装着していることを他の人からどうみられているのかを気にすることがあります。周りの人たちに補聴器や耳の聞こえに関して知ってもらい、時には協力してもらい、理解してもらおうことが今後の生活のしやすさや感情面の安定につながると考えています。



しょうこう ほごしゃ
(小高・保護者)

一生懸命頑張る子です。人前に立つことが好きです。説明することが苦手なところもあるので、途中で止まってしまった時に先に言ってしまうずに、本人が話し始めるのを待つてほしいです。発語・発音も気になるので見ていただきたいです。学校で困っていることなど通級のおかげで知ることもあるのでお願いしたいです。



しょうこう ほごしゃ
(小高・保護者)

保護者の願い（思い、期待）をしっかり受け止め、感じて、理解して、日々の通級指導に努めていきます。それが聾学校に求められているセンター的機能の1つであると考えています。